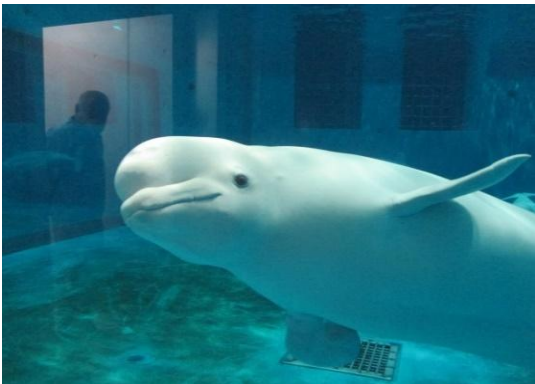


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援A型事業所「はまかぜ」	事業所番号	3210700419
住 所	島根県浜田市港町 3 2 - 1	管理者名	牛尾 慎司
電話番号	0 8 5 5 - 2 8 - 7 6 3 0	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞ 活動内容：しまね海洋館アクアス 実施日程：令和 6 年 4 月～令和7年3月 毎週（金） 9 時～11 時（祝日は休み） 毎回指導員1名、利用者3名にて従事 実施した施設外就労の概要：シロイルカの調餌作業 （荷出し、バラし、計量解凍、洗い・傷チェック、掃除）	＜活動の様子＞      
＜目的＞ ●地域連携活動のねらい 法人内での作業がほとんどの中、外に出て社会で仕事をする貴重な機会となり、より高い社会性、技術、接遇などを獲得できる。一般就労に向けての足掛かりになってほしい。 ●地域にとってのメリット 障がい者とふれあう良い機会となり、偏見除去や啓蒙活動に繋がる。人手不足が解消される。 ●対象者にとってのメリット 島根県西部最大の観光施設のメインであるシロイルカに関われることは、やりがい、達成感、自己肯定感につながる。アニマルセラピー的な効果もある。	
＜成果＞ ●実施した結果、得られた成果 ・ 仕事に対する責任感やモチベーションがアップしている。 ・ 対象者はやりがいを感じ、作業が楽しみになっている。 ・ 対象者同士のコミュニケーションがより円滑になった。 ・ アクアスの職員の接遇を側で見ることで、自身の作業や立ち振舞いを見直すきっかけとなっている。 ・ 特に前年度はシロイルカの出産や死亡があり、利用者職員ともに一喜一憂し、上記成果が例年以上に感じられた1年であった。 ●課題点 ・ 移動時間（事業所から車で片道25分かかること）。 ・ 従事する利用者人数が増えつつも業務の質を維持すること。	

連携先の企業等の意見または評価			
令和6年度は、当館のシロイルカ2頭の出産という喜ばしい出来事とその後の突然の母獣アーリャの死から始まった国内2例目の人工保育成功への挑戦という大変な取り組みがありました。アンナ親子の観察と未知なる人工保育の対応で疲弊しきったわたしたち飼育員を、この一年、みなさまの丁寧な調餌作業でずいぶんお手伝いいただきました。 さらに、この委託業務とは別に、アーリャ親子をモチーフにしたペットボトルアート作品を寄贈いただき、そのお心遣いに職員一同、本当に助けられました。地域連携で繋がった心の共有の素晴らしさを思い知らされた気がいたしました。 当館で生まれたシロイルカたちが成長していく姿と一緒に見守りながら、これからも引き続きよろしく願いいたします。			
連携先企業名	島根県立しまね海洋館	担当者名	三島 有紀